

授業概要

経済学に関する予備知識として、経済とは何か、経済学とはどのような学問なのかについてのイメージを持てるようにする。経済学の歴史と理論と現実の問題について関連付けながら講義する。経済学的な思考方法や経済関連の時事的問題にも関心が持てるような講義を目指す。

授業計画

第 1 回	経済とは何か(ガイダンス)
第 2 回	経済学はどこから始まるのか
第 3 回	重商主義と商業のシステム
第 4 回	経済学は自然をどうとらえたか—重農主義と農業
第 5 回	経済学の歴史と様々な理論
第 6 回	アダム・スミスの経済思想
第 7 回	古典派経済学の形成と展開
第 8 回	人口と経済学
第 9 回	経済学の主流派と反主流派
第 10 回	貨幣について—機能
第 11 回	貨幣について—貨幣数量説とは
第 12 回	国際通貨体制
第 13 回	経済学の法則—需要と供給
第 14 回	経済学の法則—賃金と労働
第 15 回	経済学の法則—資本
第 16 回	定期試験

到達目標

経済学における思想や歴史、理論、そして現状を総合的に学び経済学の基本的な知識を習得すること。

履修上の注意

講義ノートを中心に学習すること。経済関係の時事問題に関心を持つこと。

予習・復習

ノートを読み直して整理する。配布された資料等を理解する。

評価方法

定期試験と確認試験を課す。定期試験 60%、確認試験 40%の配分で評価する。

テキスト

授業中に参考文献を指示する。